

しのぶ草



平成 25 年 9 月 17 日発行

発行：宮崎市教育委員会文化財課

宮崎市きよたけ歴史館

所在地：宮崎市清武町加納甲 3378-1

TEL 0985-84-0234 FAX 0985-84-2634

《夏の展示》

7月27日から8月25日まで、「清武の子どものための年中行事」と題して、イノコモチ(亥の子餅)と清武かるたを取り上げて夏の展示を開催しました。



イノコモチの写真を見ながら、「子どもの頃は楽しみだったな。」「今でも多くの地区で続けられているのだな。」などと、感慨深げに話される方々も

おられました。期間中、多くの方々にご観覧いただきまして誠にありがとうございました。また、展示にあたりましては、清武町域の様々な方々の温かいご協力をいただきました。おかげさまで、夏の展示も充実した中で無事終了することができました。心より厚くお礼を申し上げます。

《秋の展示は「安井息軒の弟子シリーズ①」》

安井息軒先生の命日である9月23日(月・祝日)から秋の展示を行います。今年度は、「安井息軒の弟子シリーズ①」と題して、谷干城たに たてきを取り上げた展示を行います。谷は、西南戦争時の熊本鎮台司令長官、第一次伊藤博文内閣(日本で最初の内閣)の農商務大臣などとして活躍した人物です。息軒先生の弟子たちについて知ることによって、いっそう先生の偉大さを理解できるようになるのではないかと思います。10月27日(日)までの期間中に是非一度ご来館ください。

★ 講座等のご案内 ★

◆ 「歩こや 清武②」

日時：平成25年10月2日(水) 午前9時～正午
コース：庵屋方面をウォーキング

◇ 「宮崎三計塾③」

日時：平成25年10月6日(日) 午前10時～正午
講師：宮崎市教育委員会文化財課 井田 篤 主査

◇ 「きよたけ歴史講座⑥」

日時：平成25年10月26日(土) 午前10時～正午
講師：宮崎市教育委員会文化財課 井田 篤 主査
演題：「谷 干城(たに たてき)」



※お気軽にご参加ください

《宮崎の縄文遺跡紹介⑧》

縄文中期の南九州と瀬戸内地域の土器

南九州地域は縄文時代前期後半に、ようやくアカホヤ火山灰の被害から回復しつつありましたが、中期になっても集落が本格的に回復した様子が見られません。前期の遺跡と同じように、中期の遺跡も出土する遺物は少なく、遺構もあまり発見されていないからです。しかし、出土した土器に注目すると、前期の頃には無かった人の動きが見えてきます。

縄文中期の南九州の遺跡から出土する土器の中に、たかしま鷹島式土器やふなもと船元式土器という瀬戸内地域で作られる土器が見られるようになります。宮崎市清武町の辻遺跡つじでは、このような瀬戸内地域で作られた土器が見つかっています。また中期中頃の遺跡からは、瀬戸内地域の土器である船元式土器の影響を受けて生み出されたと考えられている春日式土器かすがが出土します。このように、南九州の遺跡から瀬戸内地域の土器が見つかる背景には、瀬戸内地方から南九州への人々の移動があったことを推測させます。

人々が活発に移動した様子がうかがえるようになり、やがて中期後半には南九州の集落が本格的に回復した様子が見られるようになります。住居跡が発見される遺跡の発見例が増え、中には数十軒も住居跡をもつ遺跡があるからです。アカホヤ火山灰の降灰以降、元気がなくなっていた南九州に活気が戻ってきたことがわかります。

(文責 秋成)



鷹島式土器(左)と船元式土器(右)